

## 令和 4 年度 指定管理施設運営状況評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん	
指定管理者	団体名	医療法人 章士会
	代表者	三上 史雄
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 3 1 日 ( 5 年間 )	
指定管理業務の概要	介護サービス (介護老人保健施設)	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計画額 ①	実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	138,700	135,698	▲3,002
うち利用料金額	132,200	134,669	2,469
うち指定管理料	0	0	0
支出合計 (B)	138,700	144,781	6,081
うち人件費	108,000	109,297	1,297
収支差 (A-B)	0	▲9,083	▲9,083
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	計画：ベッド利用率 94% (27.3床/日) ・法人繰入額 6,000 (千) 理由：ベッド利用率 95.6% (27.7床/日) と過達したことにより売上実績は、計画達成をするも、コロナ感染症対策経費、経管栄養対象者増による給食材料経費、水光熱費等の増、また予定していない退職金支出 (3,571千) の発生があり、予定していた経費額に収めることが出来ませんでした。		

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	介護老人保健施設 入所者延べ数	9,950	10,114	164

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有  無 )

提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者とその家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集している。今年度、苦情やそれに類することはありませんでした。

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
なし			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

- 評価基準 A 優 良) : 計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。  
 B 適 正) : 計画された業務水準を概ね達成した。  
 C 要改善) : 計画された業務を達成できなかった。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	C	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

⑥指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

ベッド利用率を通期 94% (利用延べ数 9.950、1日あたり 27.3人)と設定することにより、関係者が判りやすい計画指標として共有することができ、体質強化というひとつの目標に近づくことができました。

また、7月に発生した新型コロナ感染症クラスターへの対応を経験することにより、感染症対策における脆弱性の確認とその対策強化を図り、介護施設としての環境整備を進めることができました。

自己評価(C)「設備・備品の維持管理」は、法人としてできる範囲での修繕や買替を行ない、丁寧な管理と使用を心掛けておりますが、むつ市として行うべき設備や備品の維持管理が計画的に行われず、利用者の安全に影響が及ぶことが懸念されることからC評価としました。

今まで、単年度毎に予算要望項目を提出し、その中の一部に予算を付けて頂いておりますが、漏れた項目の漏れた理由、いつになったら予算がつくのか分らず、毎年度、同じ項目の要望を提出している状況です。改善策については、保守、修繕、買替の計画的なスケジュールを検討していただくこと。それに伴う、予算計上をしていただくこと。併せて、職員の設備、備品に対する管理意識をより高めていくことが大切だと思われま。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

㊦所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

感染症対策においては、対策強化を図り、適切なサービスの提供に努めていただいております。

収入の面では、ベッド利用率が計画値を上回ったことから収入増につながっており、支出面では光熱水費や食材費等の物価が高騰する中、経費の節減に努め、経営改善に取り組んでいることがうかがえます。

備品につきましては、すべての要望にお応えすることができず、ご苦勞されているようですが、今後も計画的なスケジュールを検討し進めて参りたいと思います。

今後も利用者が安心して利用いただけるよう、質の高いサービスの提供を維持しながら、効率的かつ計画的な施設運営を目指していただきたいと思います。